

令和3年度 第15回政策推進会議報告

日 時 1月20日 9時30分～10時15分

場 所 WEB会議室

出席者 19人

1 第6次尼崎市総合計画（素案）及び素案に対する市民意見公募手続の実施について

総合政策局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

- ・（市長）これまで各局から様々なご意見をいただきました。素案がここまでまとまったということで、皆様のご協力に感謝したい。これからパブコメでいろいろなご意見をいただき、審議会での議論、最後は議案として市議会で精査していただく。まだ修正の余地がある状況で、指標についても審議会から宿題、ご意見も出ており、パブコメや議会などからのご意見も踏まえて確定させていきたい。今後5年、10年と使っていくものでもあるので、各局からも修正というところがあれば、事務局へご意見をいただければと思う。タウンミーティングもコロナが猛威を振っている中なので、柔軟に、オンラインの回数を増やす、密を避けるといった対応も必要になってくるかもしれないが、皆様からもぜひお声がけいただき、こういう取組が進んでいることについて是非、発信していただけたらと思うのでよろしく願います。

2 （仮称）尼崎市公文書管理条例（骨子素案）に対する市民意見公募手続の結果の公表について

総務局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

- ・（市長）本市に関わりの深い、愛ある意見が来ており、しっかりと受け止めながら進めていきたいと思うが、職員からすれば、実務上どういうふうに取り扱われていくのかというところが最大の関心事で、核心になってくると思う。条例が施行されてから少しずつ整理されていく部分もあると思うが、電子情報の取扱い等についてはなるべく早くガイドラインを整え、皆様がしっかりとイメージして仕事ができるようにしないといけないと思っている。皆様の過剰な負担にならないようにというのはもちろん、考えながら進めていくことになると思うので、まだまだこれからがスタートだがご協力をよろしく願います。

3 その他

○健康福祉局長から「高齢者ふれあいサロンのロゴマークの選定に係る採用作品の決定」について説明。（以下、質疑等）

- ・（市長）現在の看板に愛着を持っていただいているところもあると思うので必ずということではないが、ロゴができて終わりではなく、できれば看板の掛け替えなどを通じて、ふれあいサロンの活性化や新たな参加者の拡大などに繋がっていくことが大事だと思う。地域に携わ

ってくれている人や職員の皆さんにも、看板作りなどのいろんな場面で、愛着を持ってこの新しいロゴを使っていただければと思うのでよろしくお願いします。

- ・(市長) ご承知の通りコロナ陽性患者が急増している。一定、予想されていた事態ではあるが、本市でも1日500人に届くという状況まで倍々で増えていることを考えると、さらに人数が増えていく状況を想定しなければならず、全庁的に応援が必要となると思うのでご協力をお願いしたい。事務フローについては全体的に簡素化していく中で、重症化リスクの高い方への確実なアプローチを重視するという形で、メリハリをつけて対応をしていただいている。他部署からの応援についても、臨時で応援に来た職員でもすぐに対応できるパートと、ある程度の期間、職員を固定化してノウハウを継続しつつ対応すべきパートがあり、長期間で職員を出してもらっている部署には苦勞をかけていると思うが理解いただき、全庁一丸で乗り越えていきたい。兵庫県としては、まん延防止等についてはまだ判断前だが、判断を待たずに私たちで進めていくべきところもあると思うので、臨機応変に対応していきたい。
- ・(医務監) 保健所への応援について、すごく迅速な対応をしていただき感謝している。次は1日の新規患者数1,000人を想定するところまで来ているので、またご協力のほど、よろしくお願いします。
- ・(総務局長) どうしても後追いになってしまうところもあり、各局には迷惑をかけているが、我々としてもできる限り調整し対応したいと思っているので、今後ともご協力をよろしくお願いします。
- ・(教育長) 学校での感染もかなり拡大しており、学校関係での陽性者への聞き取り調査は教育委員会が主体的に行うということで医務監とも調整しているが、体制を組む時間と、学校への周知が必要なので、一両日待っていただきたいと思っている。また、濃厚接触者に指定されただけでは必ずしもPCR検査を実施しないと聞いているが、それは決定でよいか。
- ・(医務監) 濃厚接触者に関しては、検査数が多くなっているのが症状があるときに検査し、それ以外は自宅待機でお願いします。市内の医療機関でもPCR検査を実施しているところがあり、濃厚接触者は行政検査として、初診料等は自己負担となるが基本無料で検査ができるので、本当に不安でどうしてもということであれば、かかりつけ医などにご相談いただきたい。
- ・(市長) 学校や保育所等もそうだと思うが、感染者が出て、濃厚接触者になった人はどうしたらいいのかという対応が刻々と変わるので難しい。ホームページにそういったページを作るのか、PCR検査が受けられる医療機関はここを見ればわかりますとか、何かまとまった渡せるものを作った方がいいかもしれない。忙しい中だが保健と教育で協力してそういうものができれば、子どもとか高齢者施設とかいろんなバージョンがあるかもしれないが、連携を取りながら、整理できればいいのかと思うのでよろしくお願いします。地域でも問い合わせや話題になることがあるかもしれないので、極力そういう成果物はどんどん共有してオープンにしていければと思う。
- ・(こども青少年局長) PCR検査の件で質問だが、医療機関は、行政検査とそうでない検査をどのように判別するのか。

- ・(医務監) 濃厚接触者の場合は患者の番号があり、この患者の濃厚接触者であることをお伝えすれば医療機関で確認できる。また今回、学校や保育園の調査の仕方が変わるということについて、市民に対してきちんと方針を示してほしいという要望があったので、尼崎市の新型コロナ対策の方向性、今後の方向性について今、紙面を用意している。
- ・(市長) 紙面を用意しているということで、ホームページ等に掲載され次第、また情報共有いただきたい。職員の感染が非常に増えており、家庭内感染が主だと聞いていて、職場でのクラスターはまだないということだが、より一層警戒心を持って、濃厚接触にならない職場環境づくりというのを改めてお願いしたい。家庭での感染はなかなか止まらないと思うので、そういう意味でもまた大変な環境だと思うが、力を合わせて、そして私たち自身もこれから議会对応が始まっていく時期でもあり忙しくなると思うが、とにかく自分自身のコンディションを良好に保ち、体調に留意して頑張っていきたいと思うので、よろしく願います。

以 上